鹿児島大学憲章

鹿児島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿児島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

教　育

鹿児島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうる人材を育成する。

研　究

鹿児島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

社会貢献

鹿児島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿児島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

大学運営

鹿児島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は、大学の自治を礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。

2007年11月15日　制定

鹿児島大学教育目標

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲げる。

1．幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。

2．豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。

3．地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養う。

4．グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

鹿児島大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

鹿児島大学は、教育目標に定める「進取の精神」を有する人材を育成するために、次のような学生を求めています。

1．鹿児島大学の教育目標を理解し、それを実現できる基礎学力と自身の成長のために修学しようという意欲がある人

2．地域／グローバル社会の多様性を理解し、さまざまな相手や状況に応じたコミュニケーションの必要性を認識している人

3．地域／グローバル社会の一員であることを自覚し、社会の課題解決に向けて貢献する意志のある人

4．IT 革命から AI 革命へと進展する現代社会において、学術的方法を通じて多様な情報を批判的に検証・精査し、新たな知の探究・創出を目指す人

このような学生を適正に選抜するために、学部の募集単位ごとに、多様な選抜を実施します。

各学部・学科等の教育目標、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

法 文 学 部

教育目標

法文学部は、情報化、国際化および地域の変化に伴う諸問題に適切に対処できる現実的な問題解決能力をもつ人材の育成を教育目標にしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴　人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を備えている人
⑵　地域社会と世界の人間・文化・社会に関心をもつ人
⑶　現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
⑷　大学で自分の将来および可能性を探求する意欲のある人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

入試で課されている教科を中心とした幅広い基礎学力
⑴　国語の基礎学力
⑵　外国語の中でも特に英語の基礎学力
⑶　地歴・公民における社会科学の基礎知識
⑷　数学の基礎学力
⑸　理科における自然科学の基礎知識
⑹　その他学科の特色に応じて求められる能力

３　入学者選抜の基本方針

⑴　一般選抜（前期日程）においては、大学入学共通テスト及び個別テスト等の総合得点に基づいて、人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力について総合的に評価します。
⑵　一般選抜（後期日程）においては、大学入学共通テスト及び個別テスト等の総合得点に基づいて、人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力、地域社会と世界の人間・文化・社会への関心、現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得への意欲、大学で自分の将来および可能性を探求する意欲について総合的に評価します。

※　学科・コースのアドミッション・ポリシーについては、以下の法文学部ホームページを参照してください。
https://kadai-houbun.jp/exam-2-2/#admission

教 育 学 部

教育目標

鹿児島大学の教育目標や教育学部の目的をうけて、教育学部では、次のような人材の育成を目標とします。

学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探究することのできる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた教員

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

教育学部では、「学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探究することのできる高度な専門性と豊かな人間性を備えた教員」の育成を目的としています。このようなことから、次のような人を求めています。

⑴　幼稚園、小学校、中学校、高等学校や特別支援学校等の教員になりたいという志望が強く明確な人
⑵　入学後に修める専門的な知識・技能を身につけるのに必要とされる基礎的な能力を備えている人
⑶　教員になるための専門的な学習や実習等に積極的に取り組む意欲が旺盛な人
⑷　児童・生徒や周囲の人々とのコミュニケーションを豊かに保とうとする意欲をもつ人
⑸　自分の人間性を高めるために、たゆまず持続的に努力する人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

教員は、専門とする分野以外にも幅広い教養と学力を身につけることが求められています。また、本学部では教育実習をはじめ様々なかたちで人と関わる機会が多々あります。そのため、入学に際し以下のことを身につけておくことが望まれます。

⑴　教員として必要な知識を学ぶための幅広い基礎学力
⑵　学校現場での実習に際し児童・生徒の模範となれる規範意識
⑶　規則正しい生活習慣
⑷　様々な人と関わるための基本的マナー
⑸　身近な事柄を知識と結びつける能力や、他者と協働する姿勢

３　入学者選抜の基本方針

⑴　一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストの科目を課すとともに、個別テスト等で国語、数学、外国語、実技検査及び面接等のうちから必要な科目等を課し、基礎学力、思考力、技能、学校の教員となることへの意欲及び自分の考えや意見をまとめ、表現する力等を評価します。
⑵　一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テストの科目を課すとともに、個別テスト等で小論文及び面接を課し、基礎的な理解力、問題意識、学習意欲、社会への関心度及び学校の教員となることへの意欲と適性等を評価します。

※　課程・コースのアドミッション・ポリシーについては、以下の教育学部ホームページを参照してください。
https://www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/about/教育目標と方針/

理 学 部

教育目標

理学部は多様な科学的問題に対応できる「幅広い課題探求能力の育成」を図ることを目標とし、次のような人材の育成を目指します。

⑴　創造的で指導的な役割を担う専門的職業人として活躍できる人材
⑵　未知の課題に挑戦する研究者・技術者として活躍できる高度な研究能力を有する人材

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴　自然科学に関する基礎的な知識と理解力を備えており、数学と理科に高い学力を有する人
⑵　課題の発見と解決に積極的に取り組み、知的好奇心や探究心の旺盛な人
⑶　広い学問的視野と適応性を兼ね備えて、自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴　高等学校で学ぶ国語、外国語等の基礎学力に加えて、理学科で必要とされる数学と理科の高い学力を身に付けてください。分からないことがあれば積極的に調べ、それでも分からないときは質問する習慣を身に付けてください。
⑵　高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などの様々な体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身に付けてください。

３　入学者選抜の基本方針

⑴　一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストによって基礎学力が身に付いているかを判定し、教科・科目に係る個別テストによって各プログラムで必要とされる数学と理科及び外国語の高い学力が身に付いているかを判定します。

⑵　一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テストによって基礎学力が身に付いているかを判定します。

※　学科・プログラムのアドミッション・ポリシーについては、以下の理学部ホームページを参照してください。

https://sci-kagoshima-univ.jp/admissions/

医 学 部

教育目標

医学部は、全人的医療を実践しうる医療人の育成並びに独創的研究を行える研究者及び優れた指導者の育成を目的とします。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴　思いやりのある人
⑵　幅広い基礎知識を有する人
⑶　人の生命や地域／グローバル社会に深い関心をもつ人
⑷　探究心があり、物事に積極的に取り組む人
⑸　AI などの革新的技術を柔軟かつ適切に活用する意欲を持つ人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴　基礎的な学力
⑵　コミュニケーション能力
⑶　医療への関心
⑷　人を思いやる心
⑸　物事に対する責任感
⑹　探究心
⑺　論理的な思考力

３　入学者選抜の基本方針

⑴　一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テスト、個別テスト等により高校の学習の到達度を評価します。医学科及び保健学科看護学専攻では、医療人としての適性を判定するために面接も実施します。

⑵　一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テスト、小論文および面接により基礎学力ならびに適性を判定します。

※　学科・専攻のアドミッション・ポリシーについては、以下の医学部ホームページを参照してください。

（医学科）https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~med/education-of-medicine/three-policy/
（保健学科）https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/about/policy/
（看護学専攻）https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/nursing/feature/
（理学療法学専攻）https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/physical-therapy/feature/
（作業療法学専攻）https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/occupational-therapy/feature/

歯 学 部

教育目標

歯学部は、「歯科医療人である前に良識豊かな人間であれ」という理念のもとに、下記の教育目標を達成します。

⑴ 全人的歯科医療を実践しうる歯学分野における幅広い知識と創造性に富む歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成

⑵ 地域医療に貢献しうる幅広い識見と人間性豊かな使命感にあふれる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成

⑶ 国際社会においても卓越した貢献をなしうる歯科医師および歯科医学教育者・研究者の育成

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１ 求める人材像

⑴ 生命への強い関心、人間としてのモラル、奉仕精神にあふれる人

⑵ 歯科医学の知識や技能を十分理解・修得できる基礎学力のある人

⑶ 歯科医療に情報科学技術を活用するための基礎的素養を備える人

⑷ 歯科医学に興味を持ち、科学的探究心の豊かな人

⑸ 幅広い視野と柔軟な感性を持ち、常に考え行動する資質のある人

⑹ 歯科医療人として社会に貢献しようとする強い意欲を持つ人

２ 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語、数学、理科、地歴、公民、英語、情報などの幅広い基礎学力のほか、特に数学、理科、英語の高い知識・能力

３ 入学者選抜の基本方針

⑴ 一般選抜（前期日程）：大学入学共通テストの成績で幅広い基礎学力が身についているかを評価します。教科・科目に係る個別テスト（英語・数学・理科）で歯学部専門科目の学修への適性を評価します。面接で生命科学・歯科医学への意欲・関心、医療人としての適性等を評価します。

⑵ 一般選抜（後期日程）：大学入学共通テストの成績で幅広い基礎学力が身についているかを評価します。面接で生命科学・歯科医学への意欲・関心、医療人としての適性等を評価します。

工 学 部

教育目標

知識基盤社会を先導する工学部は、高度な専門職業人の養成教育において、ひとりひとりの学生が自ら向上心をもって主体的に学修し、困難に立ち向かう「自主自律と進取の精神を有する学士（工学）」の育成を目指します。そのため、次の教育の目標を掲げます。

⑴ 「ものづくり」において地域社会及び国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生に、幅広い教養と高度な専門能力を育みます。

⑵ 獲得した知識や技術等を統合的に活用することにより、人類社会や文化と自然との調和ある発展に貢献する能力を養います。

⑶ 高度な工学技術や知識を、実社会における課題解決のために応用できる創成能力を養います。

⑷ 豊かな人間性と普遍的な倫理観に基づき、自ら向上心をもって次代を切り拓く力を養います。

⑸ 社会的な責任を担いつつ、グローバルな教養人として生涯にわたって自己研鑽に取り組む力を養います。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１ 求める人材像

工学部は、本学部の教育目標に共感できる次のような人を、国内外から広く求めています。

⑴　工学部の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
⑵　工学の面白さを学びたい、ものづくりに取り組んでみたい、技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
⑶　自ら考え、主体的に学修する目的意識が明確で、そのための学修意欲が高い人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語、情報などの基礎学力のほか、特に各学科の各プログラムでの専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

３　入学者選抜の基本方針

⑴　一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テスト及び個別テスト等の総合得点に基づいて基礎学力、思考力などを評価し、全プログラムと先進工学科の括り枠の間で第２・第３志望を認めて選抜します。
⑵　一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テスト及び個別テスト等に基づいて基礎学力、志望動機、学習意欲などを評価し、全プログラム間で第２・第３志望を認めて選抜します。

※　学科・プログラムのアドミッション・ポリシーについては、以下の工学部ホームページを参照してください。
https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/faculty/goal/

農 学 部

教育目標

多様な自然環境と生物資源に恵まれた鹿児島の地域特性を活かした主体性重視の実践教育及び分野横断型農学DX教育により、我が国の持続可能な農林食産業の発展と地域の課題解決に農学総合力と専門性を持って果敢に取り組み、新時代を自ら切り拓くことができる人材の育成を目標とします。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

農学部は、次のような学生を国内外から広く求めています。
⑴　農学関連分野に強い関心を持ち、将来これらの分野で活躍を目指す意欲のある人
⑵　自然科学の幅広い知識と英語の基礎的な学力を備え、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の修得に意欲のある人
⑶　フィールドや生産現場での技術・研究に強い関心を持ち、農林業及び食品生命科学に関する実務・実技能力の向上を目指す人
⑷　多様で持続的な社会の構築に参画し、地域社会、国際社会に貢献することを目指す人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、情報などの幅広い基礎学力のほか、特に数学、理科、英語の高い知識・能力を身につけていることが望ましいです。

３　入学者選抜の基本方針

⑴　一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストに加え、個別テスト等を課し、自然科学の幅広い知識と英語の基礎学力、思考力及び高等学校の調査書を評価し選抜します。
⑵　一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テスト成績による幅広い学力の確認に加えて、小論文形式によって、理論的思考力、記述・表現力及び高等学校の調査書を評価し、総合的に選抜します。

農学部・水産学部　国際食料資源学特別コース

教育目標

東南アジア・南太平洋・アフリカを中心とした国際社会を対象として、食料資源の持続的生産とその合理的利用の分野の専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画し、国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材を育成することを目指します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴　国際食料資源学特別コースの教育目標に共感し、その実現に向けて考える力と意欲を持つ人
⑵　国際的視点に立った食料・資源問題の解決に熱意と意思を持つ人
⑶　実用的な英語力の強化に意欲のある人
⑷　学ぶことに努力を惜しまず、社会の持続的発展に取り組む意欲を持つ人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴　高等学校で学ぶ国語（読解、文章表現）、英語、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ）の基礎学力
⑵　国際食料資源学特別コースでは、２年次以降、農学および水産学のうち食料資源利用に関わる専門科目を修得していきます。専門科目修得のためには地理歴史、公民、生物、化学等の学力が要求されます。これらの科目は１年次に取得できますが、理解するための基礎学力が必要です。

３　入学者選抜の基本方針

一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストに加え、個別テスト等を課し、基礎学力及び思考力を評価し選抜します。

水 産 学 部

教育目標

水産学部は専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備えた水産技術者を社会に送り出すために、以下の教育目標を掲げます。

⑴　鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む水圏をフィールドとして、水産資源の持続的生産とその合理的利用及び水圏環境の保全・管理の分野の専門知識を修得した人材の育成
⑵　豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画する人材の育成
⑶　地域社会と国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材の育成

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

⑴　海洋環境や水圏の生物に興味を持ち、水産業の基盤である海洋環境や水圏に生息する生物の特性と両者の相互作用についての基礎科学を学び、学校教育や環境教育の現場あるいは海洋環境と生物に関する調査・保全に関わる機関で働きたい人
⑵　水産資源の生産管理や増養殖に興味を持ち、水産資源とその採捕・管理及び増養殖に関する理論と技術について学び、漁業技術産業、増養殖産業あるいは水産資源の開発・管理や増養殖に係る公的機関で働きたい人
⑶　水産食品や水産資源の先進利用に興味を持ち、水産資源の食品としての利用と機能性化成品などへの先進的な利用について学び、食品・化学品製造業及び製薬業ならびにそれらの関連分野で働きたい人
⑷　水産政策や水産物流通に興味を持ち、水産政策と水産物流通・経済に関連する知識と技術について学び、水産流通業や食品産業、水産系公務員、水産系金融、水産系公的機関などで働きたい人
⑸　水圏環境の保全に興味を持ち、赤潮、有機汚染、有害化学物質汚染（人為的ネガティブインパクト）、水圏環境の保全と修復について学び、環境アセスメントや関連分野及び公的機関で働きたい人
⑹　水産教員、海技士またはグローバル人材として働くために必要な職業能力を強化し、地域社会に貢献したい人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

⑴　高等学校で学ぶ国語（読解、文章表現）、英語、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ）の基礎学力が必要です。

⑵　専門科目修得のためには、各教育分野に対応した科目（生物、化学、物理、地学等）の学力が要求されます。これらの科目は１年次に習得できますが、理解するための基礎学力が必要です。

３　入学者選抜の基本方針

⑴　一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テストに加え、個別テストを課し、基礎学力及び思考力を評価し、更に高等学校の調査書を評価した上で選抜します。

⑵　一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テスト成績による幅広い学力の確認に加えて、小論文形式によって、論理的思考力、記述・表現力を評価し、更に高等学校の調査書を評価した上で選抜します。

共同獣医学部

教育目標

国際水準の獣医学教育を体系的に創出・実践するとともに、学際協力により深い知識と高度な技術を備えた専門性の高い獣医師及び創造性豊かな研究者を養成し、幅広い見識と倫理観をもって人間社会の質的向上に貢献できる能力を培い、問題解決能力と自己資質を向上させる能力を涵養することで、地域に根ざすとともに社会のニーズに対応した、人間地球社会を俯瞰できる人材を輩出します。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

１　求める人材像

発展・進化する獣医科学及び畜産科学に取り組む知識欲と探求心、これを実践・活用する論理性と創造力及びチーム活動と共生社会形成のためのコミュニケーション能力の素養を備えた、次のような学生を求めています。

⑴　獣医師の幅広い職責について理解し、獣医学を志す明確な目的意識を有する人

⑵　動物を慈しみ、動物生命科学研究によって畜産資源の安定供給と安全性確保に貢献する目的意識のある人

⑶　自然科学、人文・社会科学及び語学に関する基礎教科を満遍なく学習し、獣医学・畜産学の知識や技術を充分に理解、修得するための基礎学力を身につけている人

⑷　人と動物の健全な共生社会実現のために積極的に取り組む意思を有し、社会的にコミュニケーションがとれる人

２　入学前に身につけておいて欲しいこと

大学入学共通テスト及び個別テスト等で課す教科・科目における基礎学力と思考力が必要になります。また、面接においては自分の考えを明確に表現する能力を身に付けておく必要があります。

３　入学者選抜の基本方針

⑴　一般選抜（前期日程）：共同獣医学科では、大学入学共通テストで６教科８科目を課すとともに、個別テストで数学、理科及び英語を課し、基礎学力、思考力を評価します。畜産学科では、大学入学共通テストで６教科８科目を課すとともに、個別テストで数学、理科、英語のうちの２科目を課し、基礎学力、思考力及び高等学校の調査書を評価します。

⑵　一般選抜（後期日程）：畜産学科では、大学入学共通テストで６教科８科目を課すとともに、個別テスト等では面接を課し、基礎学力、志望動機、勉学意欲、理解力、表現力、適性及び高等学校の調査書を評価します。

※　学科のアドミッション・ポリシーについては、以下の共同獣医学部ホームページを参照してください。
（共同獣医学科）https://www.vet.kagoshima-u.ac.jp/department/vet/#policy
（畜産学科）https://www.vet.kagoshima-u.ac.jp/department/livestock/